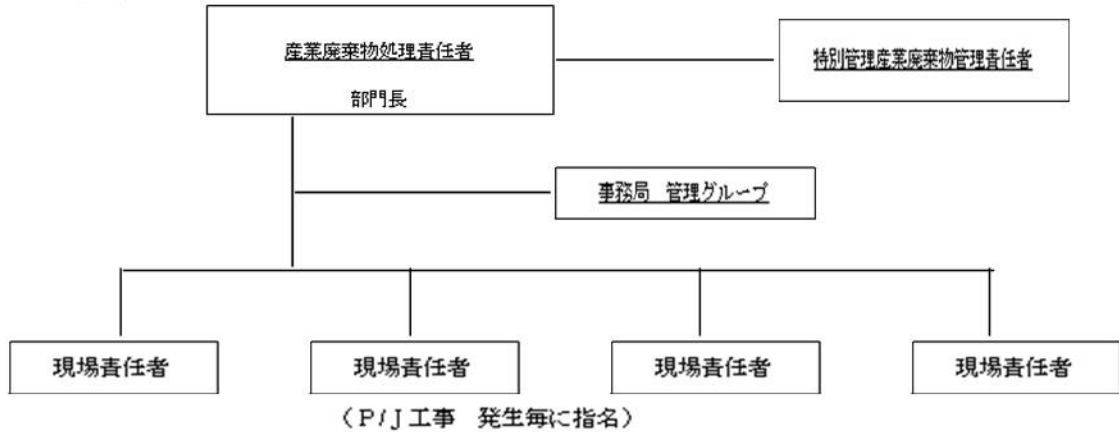


(第1面)

産業廃棄物処理計画書 平成29年 6月 26日 愛知県知事殿 提出者 住 所 豊田市前山町3丁目2番地6 氏 名 トヨタT&S建設株式会社 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) トヨタ営業所 所長 樋田伸明 電話番号 0565-28-1818 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	トヨタT&S建設(株)トヨタ営業所施工管内 県内各建設現場
事業場の所在地	みよし市打越町並木1地内他
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06. 総合工事業
②事業の規模	8,475.4百万円 (28年度トヨタ営業所全体売上高)
③従業員数	52名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・元請 廃棄物発生者として委託契約により 100%中間処理業者へ委託(産業廃棄物管理票管理) ※自社に中間処理施設、最終処分場は保有せず

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（28年度）実績】※廃棄物の種類及び量は「別紙の通り」		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 1. 材料のプレ加工 2. 配線等のユニット化 3. 材料の無包装化 4. 機器類の簡易梱包化 5. 設計段階での改善 6. 工法（施工）段階での改善		
② 計画	【目標】※廃棄物の種類及び量は「別紙の通り」		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今年度は、昨年度と比較し受注量は減少傾向にあると思われる 又、工事内容によっても極度の変動があり、目標値の設定に苦慮 上記事項の継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・鉄、木、石膏ボードの完全分別（規定規模以上の単独現場） ・生活系（一般ゴミ）の持ち帰りの徹底・協力業者への協力依頼（契約時） ・新規入場時での現場内規則の徹底・協議会等での主旨徹底 ・社員の意識の衰退防止
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記事項の継続実施

(第2面の別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	0.0 t	7.3 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	0.0 t	5.1 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第2面の別紙2)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	排 出 量	0.0 t	80.0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	排 出 量	0.0 t	56.0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第2面の別紙3)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類
	排 出 量	30.0 t	2,769.3 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類
	排 出 量	21.0 t	1,938.5 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第2面の別紙4)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	石綿含有混合物
	排 出 量	591.0 t	12.5 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	石綿含有混合物
	排 出 量	413.7 t	8.8 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第2面の別紙5)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	合計	
	排 出 量	3,490.1 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	合計	
	排 出 量	2,443.1 t	
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 自ら再生利用を行う施設は保有していない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 自ら熱回収を行う施設は保有していない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・ 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】※廃棄物の種類及び量は「別紙の通り」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 委託契約時、再利用の確認を実施 ・ コンクリート アスファルト系のがれき類は再生資源化施設保有の中間処理業者へ100%委託（再生利用率を最終的に100%が目標） ・ 汚泥、廃プラスチック類とも中間処理業者と連携して減量化推進		

(第4面の別紙1)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	7.3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	7.3 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面の別紙2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	0 t	80.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	45.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	35.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面の別紙3)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類
	全 処 理 委 託 量	30.0 t	2,769.3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	8.0 t	1,837.3 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	22.0 t	932.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面の別紙4)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	石綿含有混合物
	全 処 理 委 託 量	591.0 t	16 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	516.0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	75.0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面の別紙5)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	合計	
	全 処 理 委 託 量	3,490.1 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2,406.3 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,083.8 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

② 計画	【目標】※廃棄物の種類及び量は「別紙の通り」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 混合廃棄物の選別後の再生利用を中間処理業者選定の基準とする ・ 優良認定処理業者の選定		
	※事務処理欄		

(第5面の別紙1)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	5.1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	5.1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第5面の別紙2)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	56.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	32.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	24.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第5面の別紙3)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類
	全 処 理 委 託 量	21.0 t	1,938.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5.5 t	1,279 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	15.5 t	659.5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第5面の別紙4)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	石綿含有混合物
	全 処 理 委 託 量	413.7 t	8.8 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	360.0 t	8.8 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	53.7 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第5面の別紙5)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	合計	
	全 処 理 委 託 量	2,443.1 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,690.4 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	572.7 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。